

／令和3年度／

わたしたちのまちの報告書



大阪狭山市



／ピックアップ／

民間企業や大学との連携を強化

—— 公民連携推進事業 —— 決算額0円

行政が抱える課題解決、市民サービスの向上、地域の活性化などを目的に、民間企業や大学などのノウハウやアイデアを積極的に活用するため、公民連携を推進しています。令和3年度は包括連携協定を6件締結し、連携事業を実施しました。

【包括連携協定の締結企業など】

- ・大阪第一交通(株)
- ・南海電気鉄道(株)
- ・大塚製薬(株)
- ・近畿大学
- ・第一生命保険(株)
- ・あいおいニッセイ同和損害保険(株)

【主な連携事業】

- ・南海電気鉄道(株)「移動販売車(キッチンカー)出店の社会実験」

南海電鉄のグループ会社である南海フードシステム(株)と連携し、狭山池をはじめとした市内各所で、移動販売車出店の社会実験を実施しました。

- ・大阪第一交通(株)「さやりんとのコラボタクシーの運行」

さやりんのぬいぐるみを乗せたコラボタクシーが市内を運行しています。うち1台は車体にさやりんのイラストをラッピングした「ラッキー☆さやりん

タクシー」で、期間中乗車した人に先着でプレゼントを贈呈しました。



・大塚製薬(株)「熱中症対策支援」

熱中症対策支援として、市職員の熱中症対策アドバイザーの資格取得支援やリーフレットの共同制作を行い、啓発に活用しました。また、熱中症や災害時の対策として、市内中学校に自動販売機を設置するとともに、自動販売機の利用に関するルールやマナーを生徒主体で考えるという取り組みを実施しています。



あらゆる人に届く支援体制を

——重層的支援体制整備事業——
決算額2630万円

介護・障がい・子ども・困窮の各法に基づく相談支援を一体的に行うことにより、対象者の属性を問わず、複合・複雑化した支援ニーズに対応する「重層的支援体制」を整備するため、次の3事業を大阪狭山市社会福祉協議会に委託しました。また、関係機関が連携して必要な支援を行いました。

①多機関協働事業

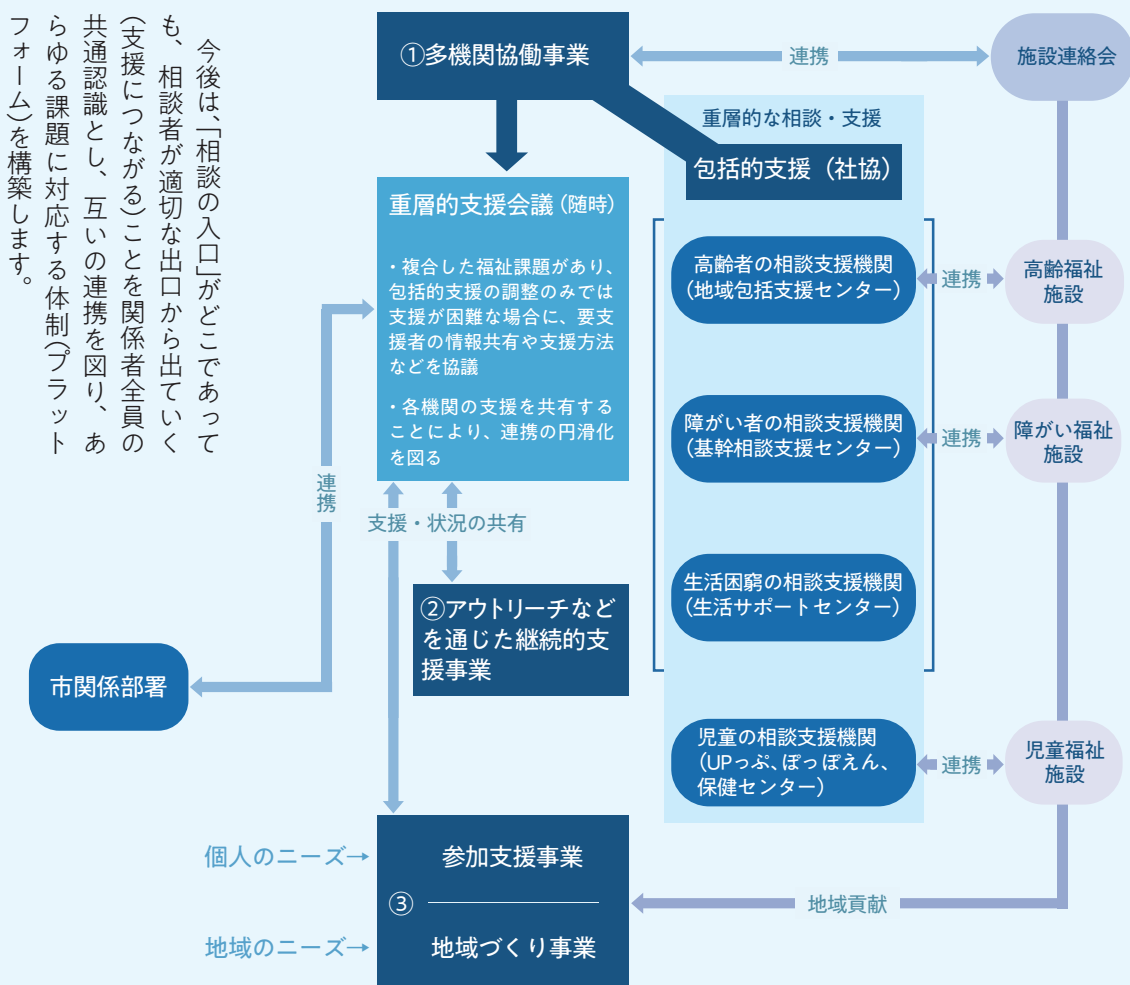
相談包括化推進員を配置し、複合・複雑化した事例について、分野を超えた関係支援機関のネットワークづくりを行いました。

②アウトリーチなどを通じた継続的支援事業

複雑な課題を抱え、自ら支援につなぐことが難しい人や世帯に、訪問や電話などによりアプローチし、その課題を各相談支援機関（地域包括支援センター、基幹相談支援センター、生活サポートセンター、子育て支援センター、コミュニティソーシャルワーカーなど）で協力して支援する体制を整備しました。

③参加支援事業・地域づくり事業

個人の抱える課題を把握し、地域の社会資源などを活用して、社会とのつながりづくりに向けた支援を行いました。



一人でも悩まず、相談してください

【高齢者の介護・福祉・健康・医療など】
地域包括支援センター ☎368-9922

【障がい者の日常生活の困りごとや障がい福祉サービス】
基幹相談支援センター ☎365-1144

【生活や仕事など】
生活サポートセンター ☎368-9955

【妊婦や就学前の子育て】
ぼっばえん ☎360-0022

UPっぶ（子育て交流ひろば） ☎360-4320

保健センター ☎367-1300

【相談窓口がわからない悩み】
社会福祉協議会（コミュニティソーシャルワーカー） ☎367-1761

どこに相談していいかわからない場合も、まずは相談してください。相談場所が違っていても、その相談を受け止め、専門機関につないで課題解決に向け一緒に取り組みます。



副池オアシス公園の魅力、ぐーんとアップ！

——水とみどりのネットワーク事業——決算額1億436万円

「大阪狭山市水とみどりのネットワーク構想」に基づき、市が持つ豊かな水とみどりの特性・資源を生かした空間づくりや環境の質向上、市の魅力や価値の向上につなげ、まちのにぎわいづくりを推進するため、副池オアシス公園を拡張し、便益施設や遊具を新たに整備しました。

「コメダ珈琲店狭山池店」がOPEN！

公園入口には、民間企業の資金力やノウハウを活用して、「コメダ珈琲店狭山池店」と駐車場の整備を公民連携により実施しました。アーチ状の店舗には、公園が一望できる大きなガラス窓が並び、園内の景観にも配慮した建物になっています。

「だれもが楽しめる」ちびっこ広場」

店舗の隣には「ちびっこ広場」を整備



し、障がいの有無や性別、年齢などにかかわらず一緒に楽しく遊べる、インクルーシブな遊具を設置しました。

あそびの丘



「あそびの丘」には大型遊具が

既存のエリアについても、公園北側の広場に築山をつくり、そこに複合遊具を設置した「あそびの丘」を整備しました。広場を駆け回ったり、ボールで遊んだり、ベンチでくつろいだりと、

思い思いの過ごし方ができるエリアになっています。

また、老朽化したあずまややウッドデッキなども改修し、既存のエリアと拡張したエリアが一体的な空間となるよう、園路や階段でつないで行き来できるようにし、だれもが安全安心にくつろぎ、楽しめるよう整備しました。

NEW 副池オアシス公園MAP



P 駐車場の利用時間
午前 6 時30分～午後10時

地域防災計画改訂事業 〈913万円〉

災害時における検証を踏まえ、国の防災基本計画および大阪府地域防災計画との整合を図り、効率的・効果的に災害に対応するため、「大阪狭山市地域防災計画」を改訂しました。



消防広域化事業

〈7億4880万円〉

令和3年4月1日から、堺市消防局へ消防事務を委託しました。地震や火災などの災害から、市民の生命や財産を守るため、高度な専門性を有した強固な組織体制を維持し、災害対応能力の増強に努めています。



まちの活性化推進事業 〈5828万円〉

「狭山ニュータウン地区再生推進計画」を策定し、狭山ニュータウンの未来を育むプロジェクト推進会議では、具体的な取り組みに先駆けたキックオフイベントとして、「狭山ニュータウン魅力発見フェスタ」を開催しました。



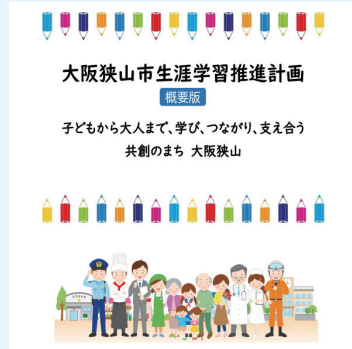
街頭防犯カメラ設置事業 〈316万円〉

防犯環境の充実を図り、犯罪がなく安全で安心して暮らせるまちづくりを推進するため、市内主要駅などの不特定多数の人が利用する公共的な場所に街頭防犯カメラを設置しました。



生涯学習推進計画の策定 〈256万円〉

日々変化する社会情勢に対応しつつ市の生涯学習施策を展開するため、大阪狭山市生涯学習推進計画策定委員会を開催し、市民アンケートや委員会での意見を踏まえ、とうえで、「大阪狭山市生涯学習推進計画」を策定しました。



個人住民税シミュレーションシステム導入事業 〈31万円〉

市府民税の申告にかかる利便性の向上を図るため、自宅でも誤りなく申告書を作成できる「個人住民税額シミュレーションシステム」を導入・稼働しました。



公共施設等総合管理計画改定事業 〈185万円〉

国の公共施設等総合管理計画の策定指針が改訂されたことに伴い、その改訂内容との整合性を図り、市の取り組みの進捗に合わせて、「大阪狭山市公共施設等総合管理計画」を改定しました。



新型コロナウイルスワクチン接種事業 〈4億5721万円〉

新型コロナウイルス感染症の発症の予防やまん延防止のため、新型コロナウイルスワクチンの集団接種を保健センターやSAYAKAホールで、個別接種を各医療機関などで実施しました。



都市計画マスタープラン改定事業 〈449万円〉

市の現状や課題などを3つの視点（強みを活かす、弱みを補う、脅威に備える）から検討し、これからのまちづくりの主要テーマの実現に向けて、将来ビジョンなどを定めました。



子ども医療費助成制度の対象年齢の拡充 〈2億3986万円〉

子育て世帯の負担を軽減するため、令和2年10月から実施している子ども医療費助成制度の助成対象年齢の上限を、引き続き18歳に拡充し、助成を行いました。



キャッシュレス決済ポイント還元事業

〈1億7478万円〉

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた地域経済の活性化と新しい生活様式への対応を目的として、「キャッシュレス決済ポイント還元事業」を実施しました。



イメージ

女性のためのよりよいホットライン事業

〈177万円〉

新型コロナウイルス感染症の拡大により、孤独や生活困窮などの様々な不安を抱える女性を支援するため、生理用品の提供と専門員による電話相談窓口「女性のためのよりよいホットライン」を設置しました。

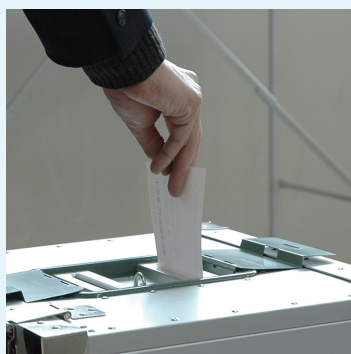


選挙執行事業

〈2262万円〉

令和3年10月31日に執行された第49回衆議院議員総選挙において、安全安心かつ快適に投票できるよう事務を執行しました。

〈投票率〉58%



子育て支援・世代間交流センター施設運営事業

〈1783万円〉

子育て交流ひろばでは、就学前の子育て家庭の交流や子育て講座などを実施しました。世代間交流ひろばでは、まちライブラリーの運営や自習室の提供、多様な自主・協働事業に取り組みました。



学校給食施設管理事業

〈6843万円〉

「学校給食センター(調理場)施設長寿命化・修繕計画」に基づき、老朽化している学校給食センター内部の塗装や消防設備などの改修を行い、衛生面の向上を図りました。



地域学校協働活動事業

〈116万円〉

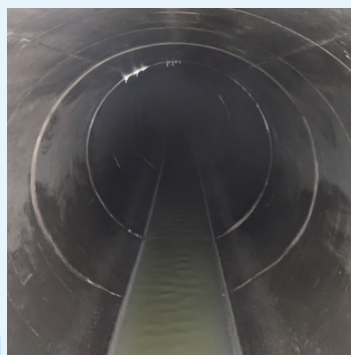
地域全体で子どもたちの成長を支える基盤づくりとして、コミュニティ・スクールを南第一小学校で実施しました。また、地域学校協働活動推進員を中心に、地域住民とのコーディネートにより野菜づくりなどを行いました。



公共下水道施設包括的維持管理事業

〈6635万円〉

いつまでも快適に下水道が使えるよう、施設を予防保全型により、一体的かつ効果的に維持管理を行いました。



雨水対策事業(西除川第二排水区浸水対策事業)

〈2億9241万円〉

集中豪雨による浸水対策として雨水整備を進めました。また、3か年をかけて整備を進めていた、西除川第二排水区雨水調整池の工事が竣工し、供用を開始しました。



窓口収納キャッシュレス決済導入事業

〈1026万円〉

新型コロナウイルス感染症まん延防止のための接触機会の減少と利便性向上のため、窓口での証明書発行手数料について、キャッシュレス決済を導入するとともに、自動釣銭機の機能を備えたセミセルフレジを設置しました。



認定こども園等施設整備事業

〈1億2738万円〉

きらりこども園の定員拡大と園舎の建て替えにかかる旧園舎の取り壊しを行いました。また、「西山台くじら小規模保育園」を令和4年4月に開園するとともに、「(仮称)夢の実保育園」の開園に向けた整備に着手しました。

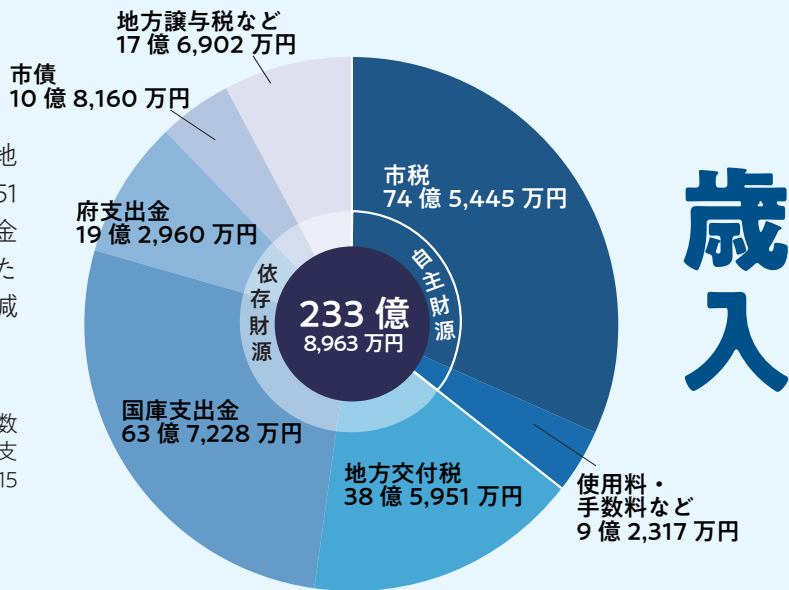


算公表

問い合わせ 行財政マネジメント室 ☎ 366 - 0011

一般会計の歳入の総額は 233億8,963万円でした。地方交付税(普通交付税や特別交付税など)は、38億5,951万円と昨年度に比べ増加する一方で、特別定額給付金給付事業の皆減に伴い、国庫支出金が大幅に減少したことにより、歳入総額では前年度より 37億5,983万円減少しました。

(参考) 令和2年度内訳 市税：73億9,971万円 使用料・手数料など：9億8,499万円 地方交付税：31億1,484万円 国庫支出金：108億4,496万円 府支出金：18億1,246万円 市債：15億4,290万円 地方譲与税など：15億2,610万円



用語解説

■自主財源

市税、使用料・手数料、諸収入など、市が自ら調達できる財源。歳入全体に占める自主財源の割合が高くなるほど、財政が安定し、自主性も高まる

■依存財源

国や都道府県から定められた額を交付される国庫・府支出金、地方交付税、市債などの財源

■市税

市に納められる税金で、全体の約9割が市民税と固定資産税

■地方交付税

一定の行政サービスの水準を維持するために国から交付されるもの

■国庫・府支出金

特定の事業を行う際に、その経費の財源として国や大阪府から支出されるもの

■市債

主に建設事業の資金として、国や金融機関などから借り入れた財源

■地方譲与税

国税として徴収した税金を国から地方公共団体に譲与されるもの

財政の健全度を判断する指標

平成19年6月に定められた「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」により、地方公共団体は毎年、健全化判断比率(4つの指標)を公表しています。下水道事業会計については、資金不足比率を公表しています。

健全化判断比率

市は右表の4つの指標すべてで「早期健全化基準」と「財政再生基準」を下回り、財政状況は健全であると言えます。4つの指標(右表①～④)のいずれかが早期健全化基準を超えると「早期健全化団体」となり、財政健全化計画を策定し、自主的な改善努力による財政の健全化に取り組むことになります。さらに比率が悪化し、財政再生基準を超えると「財政再生団体」となり、財政再生計画を策定し、国などの関与による確実な財政の再生に取り組むことになります。

健全化判断比率	大阪狭山市の状況	早期健全化基準	財政再生基準
①実質赤字比率	該当なし(△6.26%)	12.94%	20.00%
②連結実質赤字比率	該当なし(△13.59%)	17.94%	30.00%
③実質公債費比率	3.0%	25.00%	35.00%
④将来負担比率	該当なし(△11.63%)	350.00%	

用語解説

■実質赤字比率 一般会計など(普通会計)を対象とした実質赤字の標準財政規模(国から見た市町村の財政的な規模)に対する比率
■連結実質赤字比率 全会計を対象とした実質赤字(または資金の不足額)の標準財政規模に対する比率
■実質公債費比率 一般会計などが負担する元利償還金などの標準財政規模に対する比率
■将来負担比率 一般会計などが将来負担すべき実質的な負債額の標準財政規模に対する比率
■普通会計 地方財政統計上、地方公共団体間の財政比較などのために用いられる統一的な会計区分

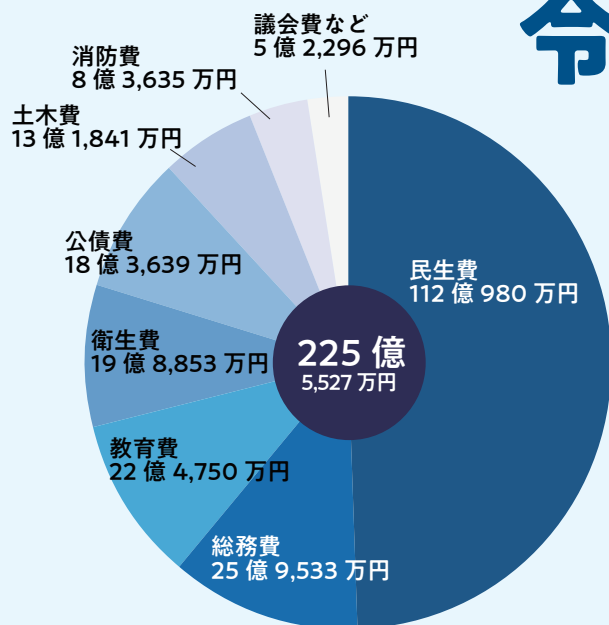
資金不足比率

資金不足比率とは、「資金不足額」を「事業の規模」と比較し、経営の深刻度を示すもので、資金不足比率が経営健全化基準(20%)を超えると、経営健全化計画を策定しなければなりません。市の下水道事業会計は資金不足を生じていないため、資金不足比率は該当ありません。

資金不足比率	下水道事業会計
事業規模① [千円]	894,972
資金不足額②	—
資金不足比率②/①	該当なし
経営健全化基準 [%]	20.00

令和3年度 決

歳出



一般会計の歳出の総額は 225億5,527万円でした。ワクチン接種事業(衛生費)や子育て世帯への臨時特別給付金(民生費)などが増加した一方、特別定額給付金事業(総務費)や消防広域化(消防費)、GIGA スクール関連の初期投資経費(教育費)などが大幅に減少したため、歳出総額では前年度より 44億2,747万円減少しました。

(参考) 令和2年度内訳 民生費：95 億 7,890 万円 総務費：83 億 8,289 万円 教育費：25 億 6,567 万円 衛生費：17 億 8,345 万円 公債費：17 億 7,238 万円 土木費：12 億 2,888 万円 消防費：11 億 5,382 万円 議会費など：5 億 1,675 万円

一般会計と特別会計

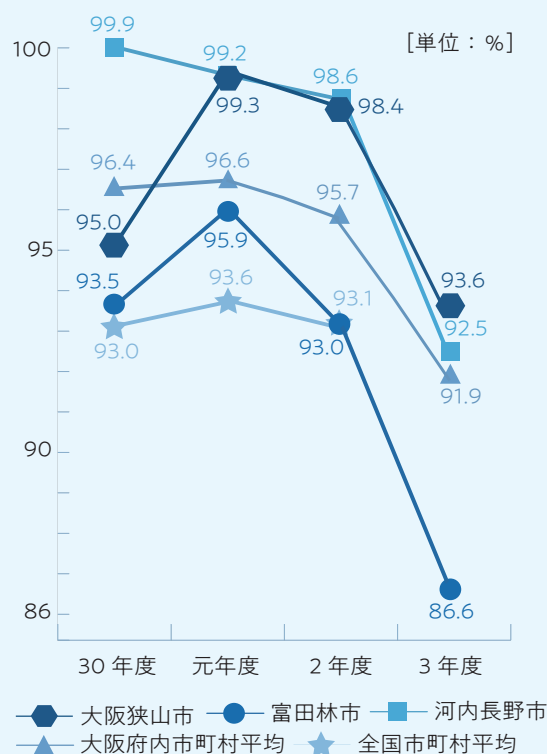
[単位：円]

区 分		歳入合計 (A)	歳出合計 (B)	差引 (A - B)
一般会計		23,389,628,931	22,555,264,534	834,364,397
特別会計	国民健康保険	6,588,819,745	6,372,340,187	216,479,558
	介護保険	5,414,126,380	5,190,062,286	224,064,094
	後期高齢者医療	1,082,524,173	1,042,297,238	40,226,935
	池尻財産区	6,807,140	6,807,140	0
	半田財産区	2,802	2,802	0
	東野財産区	5,384,347	5,384,347	0
	今熊財産区	66	66	0
	岩室財政区	1,854,754	1,854,754	0
	茱萸木財政区	8,500	8,500	0
	特別会計 計	13,099,527,907	12,618,757,320	480,770,587
合 計		36,489,156,838	35,174,021,854	1,315,134,984

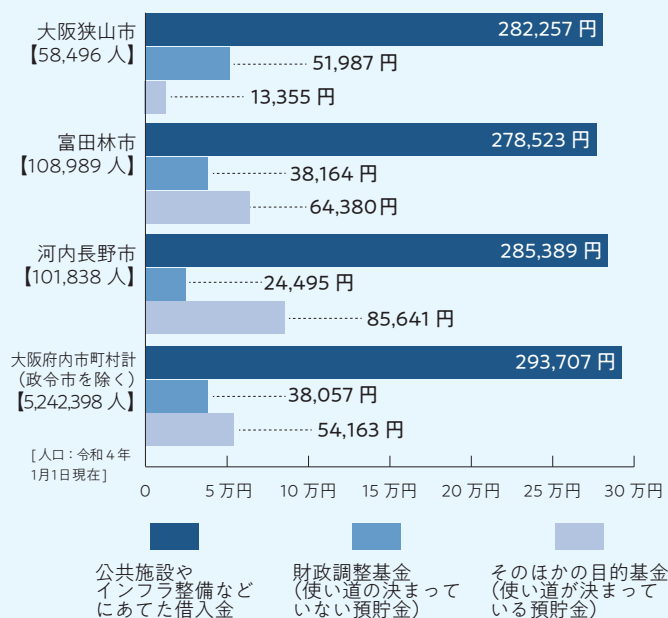
財政の弾力性を判断する指標

経常収支比率

経常収支比率とは、毎年支出しなければならない経費(経常的経費)に対し、毎年決まって入ってくる収入(経常的収入)をどの程度あてているかを見る比率です。この比率が高くなるほど、新しい事業や公共施設の整備などの投資的な経費へあてるお金が少なくなり、財政運営は厳しくなります。



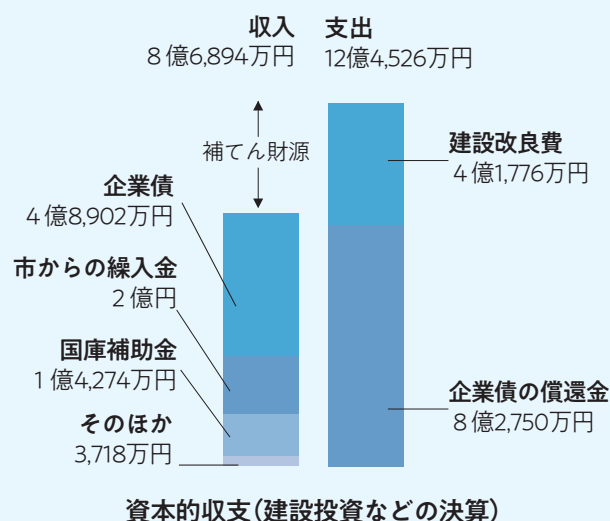
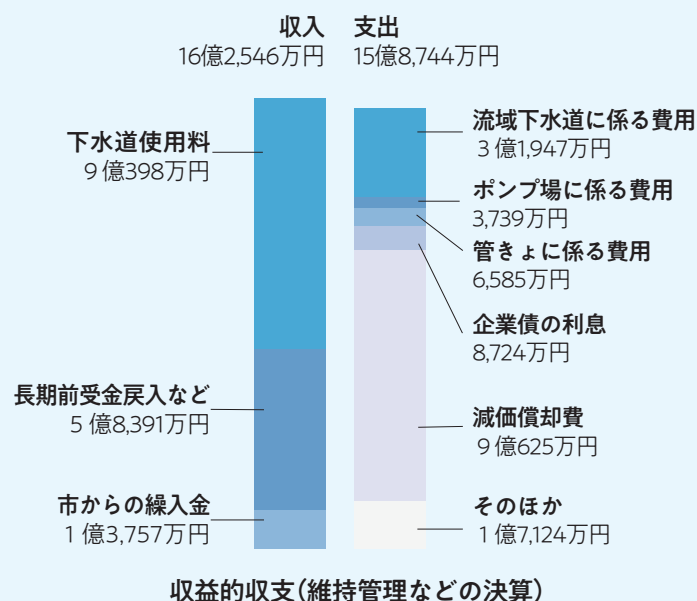
市民1人あたりの借入金と預貯金



令和3年度下水道事業決算

問い合わせ 経営総務グループ ☎366-0011

令和3年度末の下水道の整備が完了している面積は880.13haで、年間有収水量は614万4,135m³で前年度に比べ8万5,795m³の減少となりました。決算の概要は下図のとおりです(消費税込み)。なお、資本的収支の不足額は、消費税資本的収支調整額1,733万円、損益勘定留保資金3億5,899万円で補てんしました。



about 大阪狭山市 (令和4年3月31日現在)

- 位置…東経135度33分 北緯34度30分 ●広ぼう…東西2.4km 南北7km ●高度…最高162m 最低52m
- 面積…11.92km² ●人口…5万8,353人 ●世帯…2万6,132世帯

●市章の由来…全体で、「さやま」の「さ」を表し、上の山形を「山」としています。下の円は、大阪狭山市民が「みんな仲良く」という意味です。そして、全体の感じとして大鵬の羽ばたくように、未来に向かって大きく進んでいく大阪狭山市の姿を表しています

西山朋佳／女流棋士
室谷由紀／女流棋士
半井重幸／ブレイクダンサー
半井彩弥／ブレイクダンサー
さやま未来プランナー
西浦秀樹／歌手
さやりん／市マスコットキャラクター



●大阪狭山市 特命大使



●ふるさと納税

令和3年度にふるさと応援寄附金として、総額1,848万1,000円の寄附をいただきました。寄附金は、指定の基金へ積み立てるなど、市の発展に役立てます。

人気の返礼品 BEST5



水・ひと・まちが輝きみんなの笑顔を未来へつなぐまち
～ みんなでつくるおおさかさやま～



問い合わせ 企画グループ ☎366-0011